

いきいきリハビリ病院で
『ケアマネ勉強会』を
開催しました！

「第1回ケアマネ勉強会」を7月19日に開催し、24施設54名の方々の参加がありました。

テーマは「パーキンソン病について」高山吉弘医師、「パーキンソン病の在宅リハビリアプローチについて」を訪問リハビリテーションの松本信広理学療法士が担当いたしました。その後の質疑応答も活発に行われました。「動画を使い、わかりやすい講義で、現場で活かすことができる」と好評のうちに1時間が過ぎました。

今回、ケアマネジャーの皆さまより医療に関する知識をブラッシュアップする機会を求められているという話を聞きました。そこで地域における紫苑会の役割を果たすことと、医療・リハビリ関連のテーマについて発信する機会を持つことができると考えました。また法人としても、直接在宅に関わっておられるケアマネジャーの皆様から、いろいろと学ばせて頂くことができたと開催したものです。

今後も定期的な勉強会を予定しております。お互いに学び合える場になればと思っておりますのでよろしくお願いします。

介護事業部：森下美恵



高山医師によるパーキンソン病について



松本理学療法士による
在宅リハビリアプローチ



熱気いっぱいの会場

◆Contents◆

- ☆ケアマネ向け勉強会 ☆副理事長より ☆訪問リハビリの紹介 ☆出前講座のご案内
- ☆膝の痛みと健康ブーム ☆田中クリニック情報 ☆嚥下体操で誤嚥予防
- ☆いきいきレシピ ☆栄養科事業所表彰



紫苑会がめざす医療はこれです！

副理事長 高山 吉弘

我々は、医療の提供において、二大テーマをもっています。ひとつは、地域にセーフティネットを張り、地域医療の中核施設となるということ。もう一つは、リハビリ医療を掲げ、地域リハビリのリーダーとなることです。

地域医療の中核施設となるためには、1) 外来にて、精度の高い満足できる疾病管理を提供し、地域の方々へ安心できる医療を提供する。2) 急性期・亜急性期患者様へ地元で安心できる入院医療を提供する。しかし、身の丈も理解し、地域の高度医療機関で対応するべき方のトリアージは慎重に行う。3) 在宅生活を継続するなかで、緊急入院を必要とする方々へ速やかな入院医療を提供する。この3点ははずせないポイントでしょう。

リハビリ医療を掲げ、地域リハビリのリーダーとなるためには、1) 圏域の数少ないリハビリ専門医療を提供しうる場であることを自覚し、広い範囲をカバーする施設であり続ける。2) リハビリに関する情報を発信し続ける。3) 時代を先取りした、あるべきリハビリの姿を模索し続ける。この3点ははずせないポイントでしょう。

皆さん、この二大テーマを達成すべく、胸をはって共に歩み続けましょう。



部署のご紹介

こんにちは！ 訪問リハビリテーションです

当院では、理学療法士3名、作業療法士1名、計4名の訪問リハビリ専属スタッフがご自宅へ訪問しています。ご本人とご家族の希望をお聞きし、利用者様のご自宅の環境などに合ったリハビリメニューを検討し実施しています。

訪問リハビリでは

- ・関節運動や筋力運動、歩行訓練などのリハビリテーション
- ・ご自宅で行える自主トレメニューの作成、チェック
- ・車いすへの乗り降りや、入浴などの介助方法の検討
- ・利用する方に合った、歩行器や杖、シャワー椅子などの福祉用具選びのお手伝い
- ・手すりの設置（位置や高さなど）、その他住宅改修時の相談

などを行っています。利用者様ご本人やご家族の皆さんが、安心して在宅生活が送れるよう、リハビリテーションの立場からお手伝いをしていきたいと思ひます。



訪問リハビリ：佐藤瑞穂



「法人出前講座」のご案内



私ども紫苑会では、市民の皆様（小グループでも対応いたします）のご要望に対して、出張して医療・健康に関する講座、勉強会を行う「出前講座」を企画しております。テーマに関しましては、右にあげた例以外にも可能な範囲で対応いたします。シリーズ対応も検討いたしますので、ご要望がございましたらお気軽にお問合せください。

（連絡先：医療連携室 担当：山中良二）

●講座テーマ（例）

整形外科全般・内科・小児科全般・感染症関連・リハビリテーション全般・障害予防・介護予防・転倒予防・病態に応じた食事・健康的な食事・嚥下障害・嚥下食について・血液の話・インフルエンザの話・介護方法全般・医療、介護保険制度・お薬の話・お薬の飲み方

膝の痛みと健康フーム（その1）

整形外科医師 幾見 俊 介

皆さま、お盆も過ぎて残暑となりましたがお元気で過ごしてでしょうか？

夏場の暑さに耐えた体は、秋口から調子が悪くなることがあります。その代表として膝の痛みがあります。整形外科の世界では「変形膝関節症」として有名ですが、原因としては「使い過ぎ」「骨格の遺伝」「体重増加」などがあり、その結果「関節の軟骨がすり減ってしまう」病気です。50歳以降の女性に多く、「O脚」「親・祖母も膝痛があった」「中年以降太った」方などによくみられます。治療は、①飲み薬・貼り薬・塗り薬、②ヒアルロン酸注射、③リハビリ、④手術とさまざまで患者さん一人一人に合った治療の組み立てが必要です。・・・とここまでは当たり障りのない一般的なお話です。次号は整形外科医である私の「ナイショ話」をいたします。

～田中クリニックからお知らせ～

クリニックでは、精度の高い血液検査が院内で迅速に実施出来るという特性を活かし、プチ血液検査を実施しております。お医者さんに診てもらうほどではないけど、ちょっと気になるから調べたいという方は、お気軽にお受けください。

予約不要、診察や結果の説明もありません。採血後、30分ほどで検査結果をお渡しできますので、不安なお気持ちを晴らしてお帰りください。

検査は、全部で5コース（1コース500円）となっております。

《コースの内容》

☆脂 質コース：HDLコレステロール・LDLコレステロール・中性脂肪

☆血 糖コース：空腹時血糖・ヘモグロビンA1c

☆肝機能コース：AST（GOT）・ALT（GPT）・γ-GTP

☆腎機能コース：BUN（尿素窒素）・CRE（クレアチニン）・UA（尿酸）

☆貧 血コース：赤血球数・白血球数・血色素・ヘマトクリット・血小板・その他



医事課：大嶽 壮

食事を安全に美味しく食べる

～嚥下体操で誤嚥を予防する～

食べたり飲んだりした物が、肺の方に流れ込んでしまうことを「誤嚥（ごえん）」と言います。この誤嚥を予防する方法の一つとして『嚥下体操』があります。のどの領域は自分の意志では動かすことのできない反射運動で、一部のみを強化することは難しい領域です。しかし、口の領域は自分の意思で動かすことが出来ます。あご・口唇・舌などの口腔周囲筋を強化・向上させることで、食物が誤嚥しにくい状態で喉に送り込みやすくなります。病気がない方でも60歳を過ぎると飲み込みや送り込みの力などが低下すると言われます。『嚥下体操』を通して、口腔周囲筋を強化・向上させることで誤嚥を予防し、安全に美味しく食事をしましょう。ご飯を食べる前の準備体操として行くと効果的です。

言語聴覚士：石島淳児

◇嚥下体操の方法◇



『聖隷三方原病院嚥下チーム：嚥下障害ポケットマニュアル第2版 医歯薬出版、東京、2003.』より抜粋



～ いきいきレシピ ～

『中華風豚しゃぶ麺&まぐろユッケ風』

《中華風豚しゃぶ麺（材料2人分と作り方）》

冷や麦（乾麺）	160g
豚ロース肉（薄切）	80g
好みの野菜	適量
揚げ玉	適量
ごま油	小さじ2
お好みでラー油	適量

- ① 熱湯に豚ロース肉をくぐらせ、水気を取って1cm幅に切る。野菜も切っておく。
- ② 麺を茹でたら、冷水でぬめり気を取る。水気をきり、ごま油をまぶし器に盛る。
- ③ 麺の上に豚しゃぶ、野菜、揚げ玉を盛り、つゆをかける。お好みでラー油を

【ゴマつゆ】

芝麻醤（練りゴマ）：大さじ3、切りゴマ：大さじ3、しょうゆ：大さじ3、水：大さじ2、酢：大さじ1、砂糖：大さじ1と1/2、こしょう：少々

《まぐろユッケ風》

しょうゆ：大さじ1、ごま油：大さじ1/2、煮切りみりん：小さじ1、煮切り酒：小さじ1を合わせる、好みでおろし生姜を加え、短冊切りにしたまぐろの赤身100gにもみこむ。お好みでうすらの卵やゴマ、青ネギを散らす。酢：大さじ1、砂糖：大さじ1と1/2、こしょう：少々



管理栄養士：佐野直美

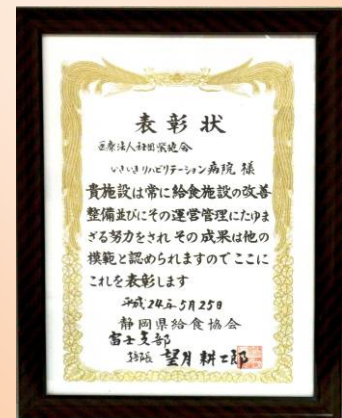
夏バテ回復メニューです。皆さんぜひ試してみてください♪

恒例のバイキングが開催されました♪

いきいきリハビリテーション病院では、さまざまな趣向を凝らしたバイキングを開催しています。リハビリだけではなく食べる楽しみも追求しています。



☆ 静岡県給食協会より
栄養科が表彰を受けました ☆



ご意見・ご要望・その他お問い合わせは下記までご連絡ください。



医療法人社団 紫苑会

いきいきリハビリテーション病院

〒419-0205 静岡県富士市天間1640-1

TEL 0545-73-1919

FAX 0545-73-1916

フリーダイヤル：0120-191-719

田中クリニック・田中クリニック健診センター

〒419-0202 静岡県富士市久沢1652-1

TEL 0545-71-0160

FAX 0545-71-0950

URL <http://www.iki-iki-hp.com>

E-mail jinji@iki-iki-hp.com

平成24年8月発行 第4号 発行責任者 理事長 田中博

